

安全で快適な自転車駐車を指して

羽村市

自転車駐車の整備の方向性

令和8（2026）年3月

東京都 羽村市 総務部

防災安全課

## 1 現状分析と課題整理

(1) 自転車駐車場の概要	3
(2) 自転車駐車場一覧	4
(3) 羽村駅周辺の自転車駐車場	5
(4) 小作駅周辺の自転車駐車場	6
(5) 人口100人当たりの収容台数	7
(6) 自転車駐車場利用状況の推移	8
(7) 自転車駐車場の利用率	10
(8) 自転車駐車場の用地	11
(9) 借地を購入する場合の費用の試算	13
(10) 自転車盗の状況	14
(11) 放置自転車の状況	15
(12) 自転車駐車場利用者アンケートの結果	16
(13) 自転車駐車場に関する問題点	17
(14) 自転車駐車場に関する課題の整理	18

## 2 今後の需要予測

(1) 羽村駅・小作駅の利用状況	19
(2) 市の人口推計	20
(3) 市内就業者数等の推移	21
(4) 自転車保有率等	22
(5) 今後の需要予測	23

## 3 有料化した場合の収支の試算

(1) イニシャルコスト	24
(2) ランニングコスト	24
(3) 利用料収入	25
(4) 収支の試算	26

## 4 自転車駐車場の整備の方向性

(1) 方策と評価	28
(2) 自転車駐車場の整備の方向性	29
(3) 改善整備の内容	30

# 1 現状分析と課題整理

## (1) 自転車駐車場の概要

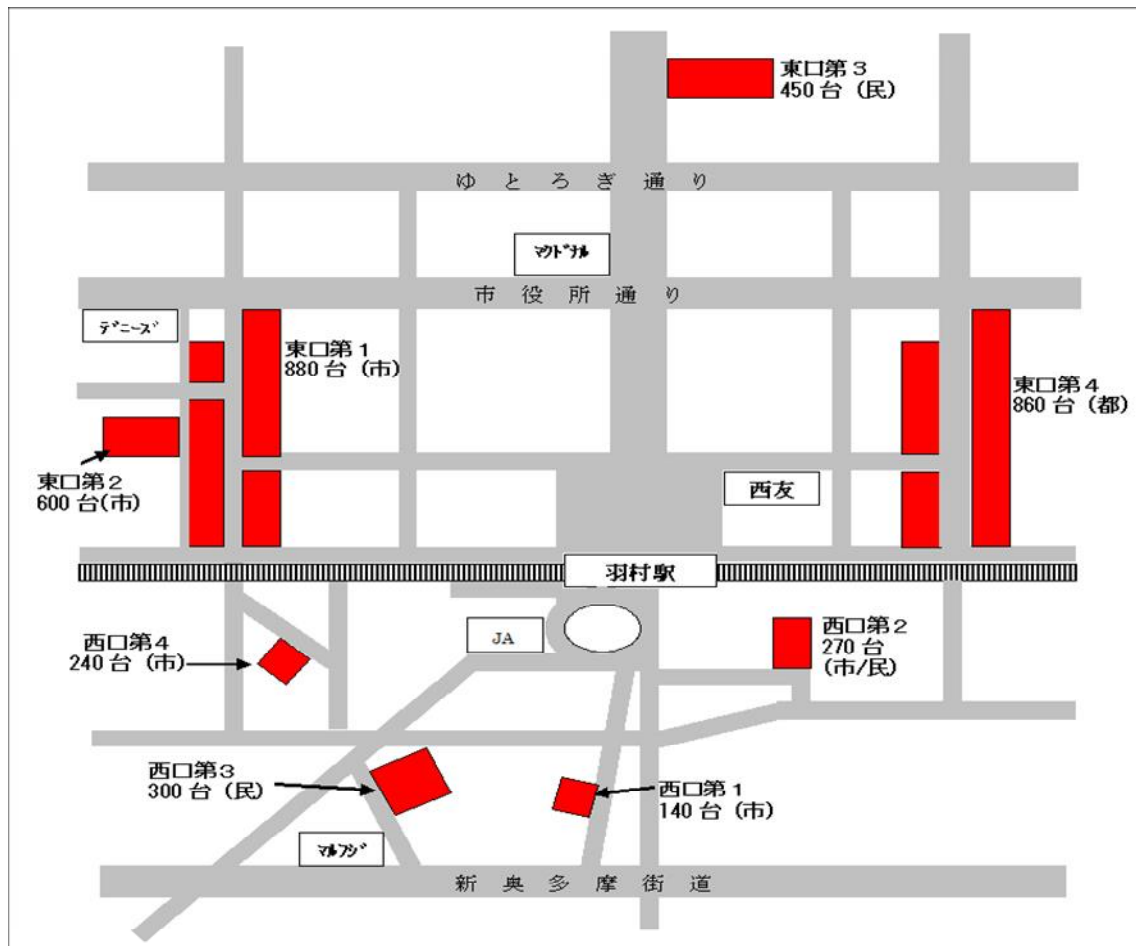
- 羽村駅周辺 自転車駐車場設置数：8か所（収容台数3, 740台分）
- 小作駅周辺 自転車駐車場設置数：4か所（収容台数2, 220台分）
- 土地賃借料 年間 8, 058千円
- 管理 放置自転車の撤去・保管・引き渡し、駐車場内の整理、駐車指導を羽村市シルバー人材センターへ委託している。

	<平日> 駐車場整理 (7:00~9:00) 放置自転車撤去 (9:00~15:00) 自転車保管所 (9:00~16:00) (水曜日は9:00~19:30)	<土曜> 駐車場整理 (8:00~11:00) 自転車保管所 (9:00~12:00)
駐車場整理の人員体制	12人	2人
放置自転車撤去の人員体制	2人	—
自転車保管所の人員体制	2人	2人
委託料 (年間/R6決算)	18, 593千円 (駐車場整理9, 328千円/放置自転車撤去9, 265千円)	

## (2)

## 自転車駐車場一覧

No.	駅区分	駐車場名	所在地	設置年度	土地区分	駅までの 距離 (m)	収容台数 (台)	土地賃借料 (円)
1	羽村駅	東口第1	五ノ神4-16 (市道水道道路側道部)	昭和53年	市有地	300	880	—
2	羽村駅	東口第2	緑ヶ丘1-21-16	平成19年	市有地	400	600	—
3	羽村駅	東口第3	五ノ神2-1-9	昭和58年	民有地	350	450	1,310,892
4	羽村駅	東口第4	五ノ神1丁目、神明台1丁目 (都道163号線側道部)	昭和52年	都有地	270	860	—
5	羽村駅	西口第1	羽東1-16	平成30年	市有地	150	140	—
6	羽村駅	西口第2	羽東1-7	昭和58年 平成23年	市有地 民有地	140	270	543,720
7	羽村駅	西口第3	羽東1-18	昭和58年	民有地	300	300	833,040
8	羽村駅	西口第4	羽東1-2	平成22年	市有地	270	240	—
	小計						3,740	
9	小作駅	東口第1	小作台2-12-7 小作台2-13-2	昭和58年 昭和62年	民有地	270	1,040	3,093,720
10	小作駅	東口第2	栄町1丁目 (都道249号線小作立体交差上部)	平成11年	都有地	250	350	—
11	小作駅	西口第1	小作台3-20-3	昭和59年 昭和63年	民有地	270	550	2,276,160
12	小作駅	西口第2	小作台5丁目 (都道249号線小作立体交差上部)	平成11年	都有地	230	280	—
	小計						2,220	
	合計						5,960	8,057,532



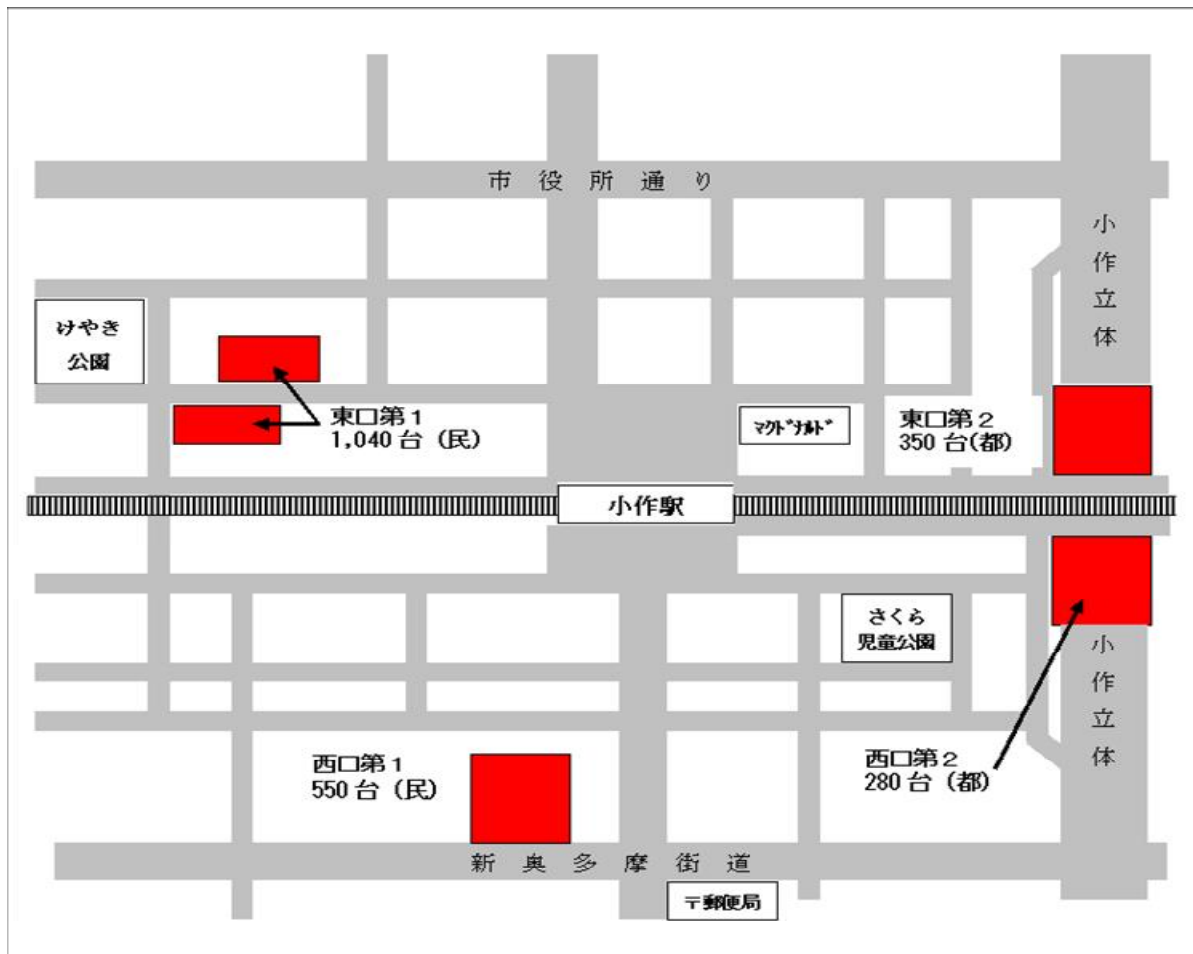
<凡例>

- ・名称
- ・収容台数
- ・土地の所有者  
(市) 羽村市  
(都) 東京都  
(民) 民間

羽村駅(東口)  
収容台数 2,790台(75%)

羽村駅(西口)  
収容台数 950台(25%)

羽村駅(合計)  
収容台数 3,740台



<凡例>

- ・名称
- ・収容台数
- ・土地の所有者  
(市) 羽村市  
(都) 東京都  
(民) 民間

小作駅(東口)  
収容台数 1,390台(63%)

小作駅(西口)  
収容台数 830台(37%)

小作駅(合計)  
収容台数 2,220台

## (5)

## 人口100人当たりの収容台数

- 羽村市は11.0台であり、青梅市、福生市、あきる野市、瑞穂町及び多摩地区26市平均と比較すると多い状況である。

	人口（人） 令和7年1月1日現在	収容台数（台）	人口100人当たりの収容 台数（台）
羽村市	54,126	5,960	11.0
青梅市	129,105	7,846	6.0
福生市	56,582	4,501	7.9
あきる野市	79,244	5,450	6.8
瑞穂町	32,013	1,450	4.5
多摩地区26市	4,194,221	178,659	4.2

## 自転車駐車場利用状況の推移（台数）

No.	駅区分	駐車場名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
			利用台数	利用台数	利用台数	利用台数	利用台数	利用台数	利用台数
1	羽村駅	東口第1	799	575	605	706	602	663	624
2	羽村駅	東口第2	331	123	152	100	75	76	66
3	羽村駅	東口第3	283	190	189	188	181	219	221
4	羽村駅	東口第4	755	538	387	697	679	698	725
5	羽村駅	西口第1	163	110	113	133	135	117	141
6	羽村駅	西口第2	334	254	270	317	261	271	309
7	羽村駅	西口第3	158	103	98	82	83	69	70
8	羽村駅	西口第4	202	152	144	166	143	145	153
	小計		3,025	2,045	1,958	2,389	2,159	2,258	2,309
9	小作駅	東口第1	684	485	554	566	593	600	521
10	小作駅	東口第2	336	262	284	338	344	366	357
11	小作駅	西口第1	321	250	269	294	283	260	244
12	小作駅	西口第2	308	240	249	280	303	286	274
	小計		1,649	1,237	1,356	1,478	1,523	1,512	1,396
	合計		4,674	3,282	3,314	3,867	3,682	3,770	3,705

※毎年10月（晴天の平日のうち任意の一日、午前10時頃）に行う実態調査に基づく駐車台数

No.	駅区分	駐車場名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
			利用率	利用率	利用率	利用率	利用率	利用率	利用率
1	羽村駅	東口第1	91%	65%	69%	80%	68%	75%	71%
2	羽村駅	東口第2	55%	21%	25%	17%	13%	13%	11%
3	羽村駅	東口第3	63%	42%	42%	42%	40%	49%	49%
4	羽村駅	東口第4	88%	63%	45%	81%	79%	81%	84%
5	羽村駅	西口第1	116%	79%	81%	95%	96%	84%	101%
6	羽村駅	西口第2	124%	94%	100%	117%	97%	100%	114%
7	羽村駅	西口第3	53%	34%	33%	27%	28%	23%	23%
8	羽村駅	西口第4	84%	63%	60%	69%	60%	60%	64%
	小計		81%	55%	52%	64%	58%	60%	62%
9	小作駅	東口第1	66%	47%	53%	54%	57%	58%	50%
10	小作駅	東口第2	96%	75%	81%	97%	98%	105%	102%
11	小作駅	西口第1	58%	45%	49%	53%	51%	47%	44%
12	小作駅	西口第2	110%	86%	89%	100%	108%	102%	98%
	小計		74%	56%	61%	67%	69%	68%	63%
	合計		78%	55%	56%	65%	62%	63%	62%

- 自転車駐車場の利用率は、羽村駅周辺が62%、小作駅周辺が63%である。

※羽村駅東口第2については、都立羽村高等学校に電車通学する生徒が下校後から登校前まで自転車を駐車しており、平日の午後4時から6時頃の時間帯（夕方）が駐車台数のピーク（利用率15%）となっている。

- 駅に近い自転車駐車場は利用率が高くなるが、自転車駐車場全体としては、供給が需要を上回っている状況である。

		羽村駅	小作駅
収容台数		3,740台	2,220台
駐車台数	平日午前	2,309台	1,396台
利用率（需給バランス）		62%	63%

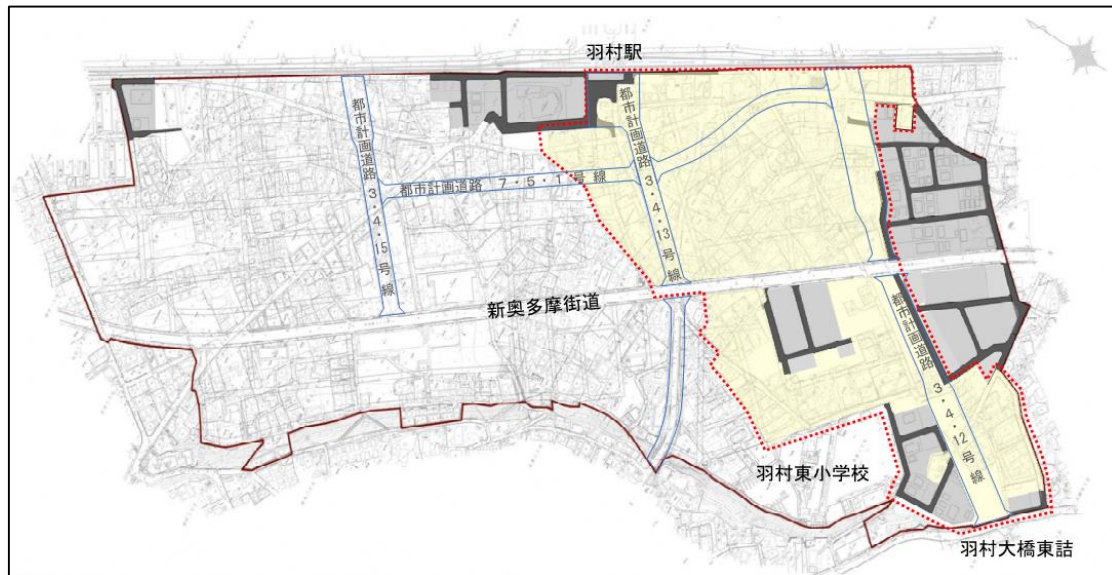
- 自転車駐車場の用地は、借地が多い。

	市有地	都有地	民有地	合計
面積	1,417㎡	1,336㎡	3,049㎡	5,802㎡
収容台数	1,950台	1,490台	2,520台	5,960台
割合	24.4%	23.0%	52.6%	

※市有地のうち、506㎡/470台は、羽村駅西口土地区画整理事業の都市整備用地である。（市有地35.7%）

※小作駅周辺は、都有地・民有地のみとなっている。

- 自転車駐車場の用地は借地が多く、また、羽村駅西口土地区画整理事業の都市整備用地を活用している状況である。  
当面の間は、借地の継続、都市整備用地の活用が可能であるが、借地については、所有者の土地利用の意向に応じて、また、都市整備用地については、土地区画整理事業の進捗に応じて、用地の返還が必要となる。
- 自転車駐車場として利用している福生都市計画道路3・4・12号線（羽村駅東口第4自転車駐車場）及び福生都市計画道路3・4・15号線（羽村駅東口第1自転車駐車場）は、都市計画決定に基づく道路整備が計画されている。
- 将来に向けて安定的に自転車駐車場の運営を行うためには、用地の確保が必要である。  
自転車駐車場の舗装や駐车用自転車ラックなどの整備については、二重投資を防ぐため、市が用地を確保した上で行う必要がある。



凡	例
令和6年度から11年度までの事業範囲	
建物調査・移転・工事等予定範囲	
過年度工事施工済箇所	

### ■羽村駅西口土地区画整理事業の進捗に合わせた調整が必要である

- ・令和6年度から11年度までの土地区画整理事業の事業範囲に羽村駅西口第2駐車場が含まれるため、代替地の確保が必要となる。
- ・羽村駅西口の全ての駐車場が土地区画整理事業の範囲内にあるため、将来にわたり安定的に駐車場を運営するためには、用地を確保する必要がある。
- ・二重投資を防ぐため、自転車駐車場の整備は土地区画整理事業の進捗に合わせて行う必要がある。
- ・自転車駐車場として、羽村駅西口地区に市有地が確保できた場合は、民有地を返還する。

駅区分	駐車場名	購入費	算出根拠
羽村駅	東口第3	約78,000,000円	土地の路線価×面積×0.7＝地価
	西口第2	約35,000,000円	
	西口第3	約53,000,000円	
小作駅	東口第1	約111,000,000円	地価×借地割合＝購入費
		約97,000,000円	
	西口第1	約149,000,000円	
合計		約523,000,000円	

- 羽村市においては、福生警察署管内の市町と比較して自転車盗が多く発生している。
- 羽村市内の自転車盗難件数は、令和6年は212件となっており、近年増加している。  
そのうち、自転車駐車場がある駅周辺での盗難件数は126件で、市内全体の59%である。

盗難件数

単位(件)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
羽村市	114	120	129	165	212
福生市	68	90	101	179	196
瑞穂町	41	46	42	48	77

駅周辺地域の盗難件数

単位(件)

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
羽村駅	東口	30	32	28	20	34
	西口	11	18	11	17	27
	小計	41	50	39	37	61
小作駅	東口	12	10	19	17	46
	西口	14	10	5	16	19
	小計	26	20	24	33	65
合計		67	70	63	70	126

- 放置自転車の件数は、令和6年度は744件となっており、そのうち自転車駐車場がある駅周辺での放置自転車の件数は673件で全体の90%である。
- 放置自転車の撤去・保管等に要した経費は、9,265千円（令和6年度決算）である。

放置件数

単位（件）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
羽村市	647	554	555	598	744
福生市	179	352	346	283	417
瑞穂町	110	112	139	98	117

駅周辺地域と駅周辺以外の放置件数

単位（件）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
羽村駅	東口	306	235	231	196	271
	西口	44	27	51	99	118
	小計	350	262	282	295	389
小作駅	東口	220	173	185	228	234
	西口	47	62	54	44	50
	小計	267	235	239	272	284
駅周辺以外		30	57	34	31	71
合計		647	554	555	598	744

- 自転車駐車場を利用する理由としては、通勤及び通学で電車に乗るための48%、買い物や食事等に行くのに電車に乗るための41%となっており、約9割が電車に乗るために利用している。
- 自転車駐車場の利用頻度は、ほぼ毎日が19%、週に4～5日が24%、週に2～3日が14%となっており、日常的に利用する人は約6割となっている。
- 現状の自転車駐車場の満足度については、約6割が満足又はやや満足と回答している。
- 自転車駐車場を有料化することについては、72%の人が現状のまま最小限の整備をした上で有料化すべきではない、としている。
- 自転車駐車場の整備にあたり、必要と思われるものについては、防犯カメラの設置が51%、照明灯の増設が38%、区画線の明確化が28%などとなっている。

※アンケート結果については、別紙参照

※回答には、単数回答と複数回答があり、複数回答は、回答率が100%を超える場合があります。

## &lt;利用面&gt;

- 駅から近い駐車場が、朝の早い時間帯に満車となる。
- 駅から遠い駐車場は、利用者が少ない。
- 混雑する駐車場は、駐車エリアの外の路上に自転車がはみ出す状況となる。また、自転車同士の間隔が狭くなり、取り出しづらいとの意見が寄せられている。

## &lt;ハード面&gt;

- 借地が多い。
- 砂利敷きの駐車場が多く、ロープの区画線が見えづらく、雑草が繁茂しやすい。
- 自転車駐車場の看板が古く、機能していない。
- 盗難防止の啓発看板も古く、機能していない。
- 照明がない又は少ないため、夜暗い。
- 駐車場内の植木が高木化しており、枝葉が場内照明灯を遮っている。
- アスファルトの区画線が薄くなっている。
- 点字ブロックが剥げている。

- 1 借地が多く、将来に向けて安定的に運営できる状況にない。二重投資を防ぐため、施設整備に投資することが出来ない。  
⇒ 自転車駐車場用地の確保が必要である。 ⇒ 用地確保には多額の費用が必要となる。
- 2 自転車駐車場における自転車の盗難が多い。  
⇒ 盗難防止のため、防犯カメラの設置や場内照明灯の増設が必要である。
- 3 放置自転車が多い。盗んだ自転車を放置するケース、所有者自身が放置するケースが考えられる。  
⇒ 防犯対策として、防犯カメラの設置や注意喚起の看板設置などが必要である。
- 4 駅に近い自転車駐車場では午前中の早い時間に満車となるため、場外に自転車を停めるなど自転車があふれている。こうした駐車場では、自転車同士の間隔が狭くなり、出し入れがしづらい状況である。  
⇒ 自転車駐車ラックの設置又は人の手による整理が必要である。
- 5 砂利敷きの駐車場が多く、区画線が見えづらい。雑草が生えるなどの状況が発生している。駐車場の看板が劣化しており機能していない。場内の照明灯も少なく、夜暗い。植木の高木化、繁茂により、枝葉が隣地へはみ出したり、照明灯を覆ったりしている。  
⇒ 適正に自転車駐車場を維持管理するため、場内照明灯の増設、舗装、区画線の補修、看板の更新、植木の剪定などの整備を行う必要がある。

## 2 今後の需要予測

### (1) 羽村駅・小作駅の利用状況

- 令和6年度と令和元年度を比較すると、羽村駅は1,183人（8.6%）、小作駅は1,014人（6.3%）減少している。両駅とも令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響による減少を経て、回復・増加傾向にある。

駅名	区分	一日平均乗車人員 (単位：人)					
		令和元年度	令2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
羽村駅	定期外	4,293	2,804	3,229	3,620	3,946	4,158
	定期	9,394	7,321	7,526	7,819	8,042	8,346
	合計	13,687	10,125	10,755	11,439	11,988	12,504
小作駅	定期外	4,879	3,184	3,835	4,528	4,888	5,006
	定期	11,231	8,387	8,876	9,457	9,830	10,091
	合計	16,111	11,877	12,711	13,986	14,718	15,097

※JR東日本「各駅の乗車人員」より

※乗車人員には、乗車の人員のみで、降車の人員等は含まない。

- 少子高齢化と人口減少が進む。  
 令和17年は、令和7年と比較して4,350人（8.1%）の減、令和32年は、令和7年と比較して11,151人（20.7%）の減と見込まれている。

（単位：人）

年齢	令和元年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年
75歳～	7,281	8,702	9,175	8,951	9,129	9,851	10,837
65～74歳	7,139	5,938	6,091	7,186	8,054	7,419	6,083
25～64歳	28,342	28,098	26,530	24,610	22,156	20,402	18,805
15～24歳	5,925	5,532	4,880	4,275	3,607	3,203	3,178
0～14歳	6,832	5,707	4,956	4,572	4,481	4,288	3,923
合計	55,519	53,977	51,632	49,594	47,427	45,163	42,826

※基準日：10月1日

※令和7年までは住民基本台帳人口の実績値、令和12年以降は「第六次羽村市長期総合計画後期基本計画基礎調査報告書」の将来人口推計より抜粋

- 就業者数は減少傾向にある。  
流入通勤者（市外から羽村市に通勤する人）、流出通勤者（羽村市から市外に通勤する人）いずれも減少傾向にある。

(単位：人)

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
就業者数	28,300	29,376	28,977	29,343	25,211	24,045	22,693
流入通勤者	17,239	18,091	17,791	18,392	14,348	13,911	13,618
流出通勤者	16,472	18,395	17,903	17,293	16,516	16,258	15,002
流入超過就業者	767	△304	△112	1,099	△2,168	△2,347	△1,384
常住就業者	27,533	29,680	29,089	28,244	27,379	26,392	24,077

※出典：国勢調査

※基準日：10月1日

- 全国的に見た自転車の保有率（保有世帯）は減少傾向にある。  
令和3年の自転車保有率は59.6%。令和3年の1世帯当たり平均保有台数は1.03台である。
- 使用用途は、買い物の割合が多い。通勤・通学の割合は減少傾向である。

自転車保有率	平成30年	令和3年
保有世帯	66.3%	59.6%
非保有世帯	33.7%	40.4%

使用用途	平成30年	令和3年
通勤	22.9%	20.8%
通学	9.4%	8.1%
買い物	50.9%	53.1%
趣味・遊び	31.3%	22.5%

1世帯当たり 平均保有台数	平成30年	令和3年
	1.22台	1.03台

※出典：（一財）自転車産業振興協会「2021年度自転車保有並びに使用実態に関する調査報告書 要約版」  
（令和4年（2022年）3月） 調査地域：全国 調査方法：インターネット調査

## ■ 交通手段としての自転車の将来ニーズ

国土交通省が令和7年3月に改訂した「自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン」では、自転車は環境にやさしく誰もが利用できる身近な交通手段であり、都市交通システムの一つとして重要な役割を担うことから、自動車からの転換等環境負荷の低減や地域の活性化等まちづくりの観点を踏まえ、自転車等駐車場の整備を進めることが必要であるとしている。

## ■ 今後の需要予測

環境にやさしい、身近な交通手段である自転車は、今後、一層の活用を促進する必要がある。

一方で、羽村駅、小作駅の利用状況や市の人口推計、市内就業者数の状況などを考慮すると、駅周辺の自転車駐車場の今後の利用需要は、横ばい又は少しずつ減少していくことが予測される。

### 3 有料化した場合の収支の試算

#### (1) イニシャルコスト

イニシャルコスト（施設整備費）	
自転車ラック・精算機設置費用	459,470,000円
機器操作案内看板等設置費用	44,880,000円
場内舗装等費用	8,030,000円
防犯カメラ設置費用	18,700,000円
周囲フェンス設置費用	20,740,000円
管理事務所設置費用（羽村駅、小作駅各1箇所）	11,000,000円
合計	562,820,000円

※施設整備費、維持管理・運営費、利用収入予測は、自転車駐車場の管理業務を行っている事業者の見積額により算出しています。

#### (2) ランニングコスト

ランニングコスト（維持管理・運営費／年間）		
指定管理委託料	人件費	46,692,470円
	機器保守管理費	23,760,000円
	管理費	13,882,440円
	合計	84,334,910円

## (3)

## 利用料収入

駅区分	駐車場名	面積	現在収容台数	整備後収容台数	整備後利用台数予測	利用料収入予測(円)
羽村駅	東口第1	320㎡	880台	715台	490台	16,096,500円
	東口第2	591㎡	600台	305台	143台	3,890,940円
	東口第3	479㎡	450台	208台	162台	5,321,700円
	東口第4	436㎡	860台	538台	503台	16,523,550円
	西口第1	198㎡	140台	105台	104台	3,416,400円
	西口第2	295㎡	270台	245台	209台	6,865,650円
	西口第3	431㎡	300台	225台	72台	2,847,000円
	西口第4	224㎡	240台	125台	121台	1,814,400円
小計		2,974㎡	3,740台	2,466台	1,804台	56,776,140円
小作駅	東口第1	1,128㎡	1,040台	563台	213台	7,106,100円
	東口第2	368㎡	350台	229台	238台	2,566,620円
	西口第1	800㎡	550台	555台	168台	5,663,050円
	西口第2	532㎡	280台	343台	162台	6,690,450円
小計		2,828㎡	2,220台	1,690台	781台	22,026,220円
合計		5,802㎡	5,960台	4,156台	2,585台	78,802,360円

※単価設定

- ・自転車 月額定期利用 1,800円、一時利用 150円
- ・原動機付自転車 月額定期利用 2,700円、一時利用 250円

※有料化後、利用者が3割減少すると仮定して試算

収支試算		
①	イニシャルコスト（施設整備費）	562,820,000円
②	ランニングコスト（指定管理委託料／年間）	84,334,910円
③	利用料収入／年間	78,802,360円
④	年間収支（③－②）	▲5,532,550円

※ 指定管理委託料に放置自転車の撤去費用は含まれていない。従って、放置自転車の撤去委託料が別途必要になる。  
（R6年度決算額 9,265,335円）

※ 参考・・・自転車駐車場管理委託料／R6年度決算額  
18,593,784円（内訳） 放置自転車の撤去・保管・引き渡し 9,265,335円  
駐車場内の自転車の整理等 9,328,449円

## (4) - ②

## 収支の試算

- 国・都支出金がない場合の試算では、初年度（n年度）に1億4,071万円、翌年度以降毎年6,500万円程度の支出が見込まれる。
- 国・都支出金が3/4の補助率で獲得できた場合の試算では、初年度（n年度）に3,518万円、翌年度以降毎年2,800万円程度の支出が見込まれる。

### ■ 国・都支出金なしバージョン

(単位:千円)

		n年度	n+1年度	n+2年度
収入	国・都支出金(なし)	0	0	0
	地方債	422,115	0	0
	利用料	0	78,802	78,802
	計	422,115	78,802	78,802
支出	施設整備費	562,820	0	0
	指定管理委託料	0	84,335	84,335
	自転車撤去委託料	0	9,766	9,766
	公債費	0	50,913	50,467
	計	562,820	145,014	144,568
収支		△ 140,705	△ 66,212	△ 65,766

### ■ 国・都支出金（3/4）ありバージョン

(単位:千円)

		n年度	n+1年度	n+2年度
収入	国・都支出金(3/4)	422,115	0	0
	地方債	105,528	0	0
	利用料	0	78,802	78,802
	計	527,643	78,802	78,802
支出	施設整備費	562,820	0	0
	指定管理委託料	0	84,335	84,335
	自転車撤去委託料	0	9,766	9,766
	公債費	0	12,729	12,618
	計	562,820	106,830	106,719
収支		△ 35,177	△ 28,028	△ 27,917

※国・都支出金のカッコ書きは、補助率を示す。

※地方債は、地方公共団体金融機構（R6-12-25以降適用）の利率等を基に試算。（充当率75%、利率0.95%、1年据置、9年償還）

※収支のマイナスは一般財源で対応する金額を表す。

## 4 自転車駐車場の整備の方向性

### (1) 方策と評価

- 自転車駐車場に関する課題としては、「用地の確保」、「施設の改修（防犯対策、利便性の向上）」である。こうした課題を踏まえ、自転車駐車場整備の方策について、市民や市の財政負担やサービス面から下記のとおり整理した。
- 財政負担やサービス面を考慮すると、「Ⅰ 土地利用は現行どおり、整備内容は必要な箇所を適時改修する」方策を取ることが適切であると考える。

	土地利用	整備内容	財政負担		サービス
1	現行どおり（借地）	必要な箇所を適時改修	市民	なし	少しずつ良くなる
			市	少し増える	
2	現行どおり（借地）	全面的整備（有料化）	市民	増える	良くなる
			市	増える	
3	公有地化（土地購入）	必要な箇所を適時改修	市民	なし	少しずつ良くなる
			市	増える	
4	公有地化（土地購入）	全面的整備（有料化）	市民	増える	良くなる
			市	増える	

- ◎ 自転車駐車場の課題を踏まえ、自転車駐車場毎に必要な改善整備を行う。
  - 現時点では有料化は行わない。ただし、今後、自転車駐車場を更にレベルアップして整備する場合には有料化を検討する。
  - 改修が必要な箇所を適時改善整備し、利用環境の改善を図る。
  - 借地等の活用による土地利用を継続するが、自転車駐車場の利用状況や周辺環境の状況を踏まえ、借地の返還や用地の整理を行う。
  - 羽村駅西口周辺の自転車駐車場については、全て土地区画整理事業の施行地区内に所在しているため、換地により市有地1か所に集約して整備する。

## ➤ 利用者の安全確保のための整備

- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 場内照明灯の改修、増設
- ・ 樹木の伐採等



## ➤ 利用者の利便性向上のための整備

- ・ 敷地の舗装
- ・ 場内区画線の改修、設置



## ➤ 環境改善のための整備

- ・ 案内看板の更新
- ・ 隣家との間のフェンスの改修

